



諏訪ユネスコ通信

発行日
令和6年11月30日
発行者
諏訪ユネスコ協会
編集委員会

諏訪ユネスコ協会

第41号



諏訪大社下社 春宮下馬橋 (下諏訪町) 挿絵：谷澤信憲

この橋は春宮大門通りの中央に位置する、御手洗川(みたらしがわ)にかけられた屋根付きの反橋です。

昔、春宮参拝の折には、ここで下乗下馬しなくてはならず、下馬橋の名がつけました。その形から俗に太鼓橋とも呼ばれます。現在でも年に二度の遷座祭の行列の内、神輿だけがこの橋を通ることができます。

神社の記録によれば造営は室町時代とされ元文年間(1736~1740)の改修と見られ、諏訪大社の中でも最も古い建築で宮大工三井伝左衛門の作とされています。古い様式が忠実に伝えられています。

2024年7月31日(水)14時より茅野市玉川にある介護施設「桜ハウス玉川」において、諏訪ユネスコ音楽大使、帯川奈々さんによるミニコンサートが開かれた。

施設の利用者30名位の方がホールに集まり、帯川さんの演奏するクラリネットとピアノの演奏に耳を傾け、大きな拍手を送った。



帯川さんは楽器をYoutube等で独学ということだが、なかなかの腕前で、施設の方からはまた来てほしいとリクエスト曲までいただいた。

演奏の合間には楽器の説明や曲を聴いた感想などお年寄りの方々に尋ねたりして、交流の時間もあっという間に終了となった。

帯川さんのお母様から「発表の場を貰えて貴重な体験になりました。皆さんに喜んで頂いて本人も嬉しそうでした。奈々もまた機会があったら引き受けたいと思っていますのでよろしくお願いします」とメッセージを頂いた。



施設のスタッフの方からは「クラリネットとピアノの優しい演奏を聞かせてくださったことに利用者さんも職員もみんな喜んでいました。普段関りが無い社会とつながりを持つことは大切なんだなと思いました」と双方にとってよい会になった。

SDGs 部会

諏訪湖アダプトプログラム・諏訪湖畔清掃の実施

2024年度第3回湖畔清掃が9月5日(木)9時より諏訪湖石彫公園一帯を会員10名が参加した。湖畔には赤とんぼが飛び、秋の気配を感じながらも残暑のなか、汗を流して行った。

諏訪湖花火大会の観覧席として使用された一帯は花火大会後の清掃が行われておりごみは少なかった。可燃物等総重量約20kgを回収した。



ク
研究大



日 時：2024年9月28日(土) 場 所：沼津市民文化センター小ホール

テーマ：「今、平和を考えると

～平和のとりでを築くために私たちにできること～」

参加者：矢崎靖雄・田村満理・安藤理恵子・窪田浩美・深井恵子・谷澤信憲

講 演 ①「出会いに生かされて」 講 師：斉藤とも子（女優）

アウシュビッツ収容所を訪ねる旅に参加して感じたこと。現地に立ち、思ったことはどうして同じ人間がこんなひどいことが出来たのか。日本でも過去同じようなことをした。どこの国でも起こりうる。若い人たちには「今をどう生きるか」自分と向き合ってもらいたい。

被爆者との出会いを通しての経験。被爆者の話を聞いて、次世代につなげていくのが私たちの役目だと思う。3.11の原発事故のあと、被爆者の子どもが差別を受けたことに衝撃を受ける。

講 演 ②「故郷を失った難民の日々～シリア難民から見える世界～」

講 師：小松由佳（写真家）

世界では戦争が続いています。中東のシリアでは内戦が続いており多くの難民が生まれています。なぜ難民が生まれるのか、難民になるということがどういうことなのか一緒に考えたい。

シリア人の人々は砂漠に生活している。2011年から内戦により、2,240万人のうち1,450万人（国民の半数以上）が避難民（国内）・難民（国外）となった。小松さんはシリア人の男性と結婚し日本へ。

日本で暮らす夫がシリア人難民として感じたこと。シリアでは家族と毎日一緒に朝食、昼食、夕食を取るのが当たり前。友人と毎日会うのが当たり前。理解出来ないこともあるが、いかに同じ場にいられるか、その方法を模索すること。ドタバタ結婚生活から学んだ、「共生の在り方」。完全に理解し合えないかもしれないことを理解する。価値観が異なる相手と同じ場に存在する努力を続ける。必ずしも相手に近づくことではなく、互いにとって適度な距離を見出すこと。

最後に私たちに出来ることは①知ること、②考え続けていくこと。報道されていることだけでなく、報道の裏側、外側にある世界に意識を持ち続けること。分かりにくい問題、容易に答えが出ない問題についても考え続けていくこと。平和についての再認識・議論を。私たちにあって、「平和」とはどのような状況なのか？平和を維持する努力を続ける。平和とは、意識しなければ簡単に壊れてしまうもの。



日 時：2024年11月9日(土) 13時30分～15時

場 所：南涯館松本ユネスコ協会事務所

出席者：松本ユネスコ協会 (3名)

飯田ユネスコ協会 (1名)

諏訪ユネスコ協会 (3名)

内 容：1. 各協会活動状況

2. 東ブロック大会in沼津報告

3. 東ブロック大会in松本について

4. 信州ESDコンソーシアム後援会名義使用申請依頼について

5. その他



● 各協会からの報告

<飯田ユネスコ協会>

① 平和のコンサート実施7月21日(日) 14時～ 上郷公民館

ハン・エミ (ピアノ) による演奏 120名～130名

② コー・アクション 街頭募金活動 10月19日(土)

学習会の後、8ヶ所に分かれて募金活動。参加者は小中高の生徒30名が参加し約13万円集まった

③ アクサ減災教育、全国で30校が選定。長野県では飯田ユネスコ協会のみ9月18日～22日まで研修 (仙台) 防災カルタの制作を計画中

④ 南アルプスエコパークについて学習会を計画

<諏訪ユネスコ協会>

① 諏訪ユネスコ音楽大使によるミニコンサート (7月31日・11月16日・24日)

② 中部東ブロック大会in沼津の報告

③ 京都研修旅行について

④ 書き損じはがきについて

<松本ユネスコ協会>

① 子ども食堂の実施 11月16日自分たちで栽培した玉ねぎやジャガイモを使ってカレーや焼き芋体験、エコパーク・ジオパークの勉強会、志賀高原視察研修会

② 書き損じはがき 農協の協力

③ 「2026年度中部東ブロックユネスコ活動研究大会in松本」について

・テーマをどうするか今後の課題

・各協会の協力をお願いしたい

● 後援名義使用申請について

「信州ESD/SDGs成果発表&交流会」の後援名義を許可する。

本部会・地域遺産部会

「京都の旅」 ー大人の修学旅行ー

諏訪ユネスコ協会が発足して14年目。「諏訪地域以外の遺産にも目を向けてみよう」という発想のもとに、10月22日(火)・23日(水)に「京都の旅」を実施した。

顧問の林新一郎氏、会員内外を含め参加者15名。チャーターバスでの旅は「ゆいわーく茅野」7時発から始まった。

今年10月22日は京都1,230歳の誕生日。首都が東京に遷都された京都に活気を取り戻そうと市民が立ち上がり「時代祭」「琵琶湖疏水事業」が始まった。

そんな歴史を勉強しながらの「大人の修学旅行」は、両日共に天気にも恵まれ、予定通りの行程が全て実施され、最高の「京都の旅」となった。

<行程概略>

- | | |
|-----------|--|
| 10月22日(火) | 茅野→京都市内(昼食)→時代祭→旅館「きのゑ」泊
*夕食後、有志による祇園街の散策 |
| 10月23日(水) | 八坂神社→琵琶湖疏水記念館・水路閣→哲学の道→
法然院→京都八ツ橋庵(昼食)→茅野 |

《参加者旅行記1》

平安遷都の日を記念して始まったという時代祭りを観る事が、今回の旅行のメインだった。その華やかさと荘厳さに満ちた時代行列を私たちは満喫した。

行列は明治維新から始まって、江戸、鎌倉、戦国時代、平安時代へと時代をさかのぼるようにして続き、華麗な衣装や甲冑、装具などを身にまとして行進する。その数、千数百名。清少納言や皇女和宮の美しさに息をのむ。さながら時代絵巻を見るかのようである。

祇園町近くの旅館「きのゑ」で旅装を解いた後、楽しい宴会で会員の親睦を深める。その後京都に五年滞在していたという田村副会長の案内で、有志による

夜の祇園の街並みを散策したことも忘れられない思い出だ。夜の街を散策する外国人の多さにも驚く。

翌日、八坂神社を参拝した後、南禅寺へ赴く。境内の脇を流れる疏水の流れに感動し、その疏水沿いの道「哲学の道」を歩いた。哲学者の西田幾太郎がよく散策したことで命名された道である。晴れてきて気温が上昇した道を覆う樹木の緑陰が心地よい。



法然院は、その「哲学の道」から少し外れた所にあつて、苔むした境内の佇まいが印象的だ。個人的には最も感動した寺院と言えるだろう。

琵琶湖疏水記念館では、明治時代に様々な困難を重ねながら琵琶湖から疏水を引いた紹介映像を見ながら、先人たちの苦勞に思いを馳せた。

私は奈良には何度も訪れているが、京都は割合に少ない。次は時間を費やしてじっくり見たいな、と思わせる古都の旅であつた。

<谷澤 信憲 記>

《参加者旅行記2》

今回の旅の目的は、京都三大祭のひとつ「時代祭」です。京都市民がつくる日本の時代絵巻を通して日本の歴史、文化のすばらしさに触れるとともに市民の継ぐ伝統を直接感じることです。特に私が目を引いたのは、整然とした隊列です。各時代の武者の装束、女性の配役の美しさは眩いばかりでした。一人の衣装に数千万円かかっていますというアナウンスに驚きましたが、時代祭は市民の方々が配役を演じており、京都のまちを愛し、誇りをもって演じている情熱が伝わってきました。平安神宮が京都総鎮守として崇敬され京都市民の象徴になっていることを改めて知ることができました。長い歴史の主役であつた京都は、諏訪地方にはない日本の文化が脈々と引き継がれていることに感銘いたしました。



本日の目的は、SDGsの掲げる持続可能な開発事業の先例ともいえる「史跡琵琶湖疏水事業」の歴史を学び、その意義を知ることです。

早速「南禅寺」に向かい、その奥にある「水路閣」を見学しました。そこは琵琶湖疏水から取水した水を高所にある貯水池まで汲み上げ、京都御所の防水用水に利用されました。水路は全長93.2m、高さは最大13mの見事な美しいレンガ造りのアーチ橋で、京都の近代化への姿を見ることができました。

疏水は、水道水、発電、舟運、灌漑、防水、産業、観光と現在につながる京都の資源になっています。一つの事業が多角的に利用され持続可能な社会を見出している姿を学ぶことができました。



最後に、車中の時間も楽しい企画を用意していただき、当研修を計画された本部会・地域遺産部会の皆さんの準備と安全な旅ができましたことに感謝し結びとします。

<平出 信次 記>

理事会報告

2024年度

第5回理事会(162回) 2024年8月22日(木) 18時30分

報告

- ・ゆいわーく「ワクワク夏祭り」参加
日 時：7月27日(土) 10時～15時
—諏訪ユネスコ協会の参加内容—
 - ①フリーマーケット (3階フリースペース)
*収益金…11,100円 (諏訪ユネスコ協会会計に入金)
 - ②体験活動…ピスタチオ人形作り (矢崎会長)
 - ③習字のデモンストレーション (平出理事)
- ・「ユネスコ音楽大使・ふれあいコンサート」実施報告
日 時：7月31日(水) 14時
場 所：介護老人施設「桜ハウス玉川」
音楽大使：帯川奈々さん (茅野市北部中学3年生)
ピアノ・クラリネットの演奏

議 事

1. 各部からの報告・連絡

本部会

- (1) 「2024年度中部東ブロックユネスコ活動研究大会in沼津」
日 時：2024年9月28日(土) 受付：12時 開会式：12時50分
場 所：沼津市民文化センター 一小ホール—
参加費：一人1,000円 (本会から負担) 交通費等 (個人負担)
交 通：マイクロバス借用 (10人乗り)
*諏訪ユネスコ協会より8人の参加が決まった。
- (2) 「京都の旅」について
 - ・参加申し込み状況 (締め切り8月25日)
*現時点では9人の参加。
*バスの関係で参加者を改めて募る。
*参加者の人数によってはバスの大きさの変更も視野に入れる。
*旅行費用の個人負担も考える。

地域遺産部会

- ・京都研修旅行の他に何か企画出来たら良いと考えている

SDG s 部会

- (1) アダプトプログラム…9月5日(木) 9時～10時
- (2) 「書初め」について
茅野市八ヶ岳総合博物館館長より平出理事 (講師) に「書初め教室の講師をして欲しい」との依頼があった旨の報告があった。
諏訪ユネスコ協会での「書初め」計画と合致する為、共催で行ってはどうかとの提案があった
 - ・理事会で承認された。
日 時：2025年1月4日(土) 10時～12時
場 所：茅野市八ヶ岳総合博物館

広報部会

- ・ 広報40号発行（7月31日）
- ・ 広報41号発行（11月30日）

第6回理事会(163回) 2025年9月17日(火) 18時30分

議 事

1. 各部からの報告・連絡

本部会

(1) 「2024年度中部東ブロックユネスコ活動研究大会in沼津」

日 時：2024年9月28日(土) 受付：12時 開会式：12時50分

集 合：茅野市「ゆいわーく」 7時

参加者：6名

内 容：

受付：12時→オープニング：12時30分→開会式：12時50分→

報告：13時10分→講演①：13時50分→講演②：14時50分→

閉会式：16時50分→解散：17時

(2) 「京都の旅」について

- ・ 参加申し込み状況…14名

* 諏訪ユネスコ協会の活動報告を兼ね長野日報へ「京都旅行募集」記事の掲載を依頼した（無料）。

* 参加人数によっては当初予定の1人50,000円が大幅に上回るが本会費からの負担は可能か確認。

* 全額自己負担でも良いのではないかとの意見。

* 費用については検討中。

(3) 2025年度役員改正について

- ・ 矢崎会長が会長を辞任する意向を示した
- ・ 10月理事会までに各々役員の進退を決める

(4) 会費について

- ・ 未納者4名。再々度入金依頼をする

寺子屋部会

- ・ 「書きそんじハガキ・キャンペーン2025」参加申込書提出期限：11月6日(水)まで

SDGs 部会

- ・ 諏訪湖アダプトプログラムの報告

9月5日(木) 9時 第3回を実施

10名参加 雑草・可燃ゴミ等20kg 収集

* 今回は3回とも5日に決めたが覚えやすく良かった。

広報部会

- ・ 41号第1回編集会議 10月29日(火) 16時

第7回理事会(164回) 2024年10月17日(木) 18時30分

報 告

- ・ 「2024年度中部東ブロックユネスコ活動研究大会in沼津」

- 参加者：矢崎・田村(満)・安藤・窪田・深井・谷澤 6名
・長野県ユネスコ連絡協議会
日 時：11月9日(土) 13時30分
場 所：松本ユネスコ協会事務局「南涯館」

<お知らせ>

- 講演会「子供たちの多様な学びを考える集い」 講師：関口慶太郎氏
主 催：「ふるさと文化を語り継ぐ会」
日 時：10月26日(土) 13時30分～15時30分
場 所：「ゆいわーく茅野」
*自主参加。

議 事

1. 各部からの報告・連絡

本部会

(1)「京都の旅」について

- ・参加申込状況

林顧問・矢崎・田村(義)・安藤(2人)・窪田(2人)・清水・平出・
谷澤・玉舎・伊藤(2人)・深井(2人) 合計15名

*研修先資料の配布・雨天の場合の日程表配布。

*林顧問…辰野サービスエリア乗車。

飲み物の提供の申し入れ。

*他参加者14名は「ゆいわーく茅野」より乗車。

(2) 令和7年度諏訪ユネスコ協会組織及び役員について

- ・組織について

*SDGs部長より「ユネスコスクールは荷が重すぎる」との意見が出された。検討事項とする。

- ・役員の選任について…三役に一任し、理事会にて承諾を得る

寺子屋部会

- ・「書きそんじハガキ・キャンペーン2025」参加申込書を行った

広報部会

- ・41号編集会議…第1回10月29日(火)・第2回11月19日(火)
第3回11月26日(火)

第8回理事会(165回) 2024年11月22日(木) 18時30分

報 告

- ・長野県ユネスコ連絡協議会：11月9日(土) 13時30分
出席者：松本ユネスコ協会(3名)・飯田ユネスコ協会(1名)
諏訪ユネスコ協会(矢崎・安藤・中村 3名)
- ・音楽大使経過報告及び実施報告
7月31日(水)「桜ハウス玉川訪問」帯川奈々さん(茅野北部中)
楽器の演奏(ピアノ・クラリネット)
11月16日(土)「虹の森」吉沢さん・橋場さん・濱さん・田中さん・
中西さん・矢崎さん 6名(茅野永明中)合唱
11月24日(日)「ラ・ナシカ」小林真理恵さん(茅野永明中)独唱

議 事

1. 各部からの報告・連絡

本部会

- (1) 新入会員について 茅野勝彦氏（岡谷市）…承認
- (2) 京都旅行について
 - ・会計報告…60,000円徴収の内2,312円返金（会計報告書同封）
 - ・反省・意見…参加者一同、楽しかった。又行きたいとの声
- (3) 2025年度諏訪ユネスコ協会役員及び組織について
 - ・会長について
矢崎会長の退任に伴い新会長の候補が発表された
新会長候補…平出信次理事を三役会に於いて選出し承認された
 - ・役員を選任について…三役に一任し、理事会にて承諾を得る
- (4) 2025年度総会 講演依頼について
 - ・「(株)竹屋」社長に講演を依頼したらどうかとの提案が出され承認された…正副会長でお願いに行く

寺子屋部会

- ・「書きそんじハガキ・キャンペーン2025」
 - *11月12日：感謝状が届く
 - *11月14日：チラシの印刷発注（18,000枚）

SDG s 部会

- (1) 「書初め教室」について
 - 日 時：2025年1月4日（土） 10時～12時
 - 場 所：茅野市八ヶ岳総合博物館
 - 講 師：平出信次理事
 - *茅野市八ヶ岳総合博物館と共催で行う

広報部会

- ・編集会議…第1回10月29日（火）・第2回11月19日（火）・第3回11月26日（火）
- ・ユネスコ通信41号発行（11月30日）

諏訪ユネスコ協会協力企業

美しい信州の酒

酒の王 **神渡**
みわたり

株式会社 **豊島屋**

プラスチック射出成形



株式会社 **みやま**

〒391-0001

長野県茅野市ちの 176-5